

道徳教育地域支援委託事業実施計画書（令和8年度）

1 学校の概要

- (1) 学校名 坂出市立松山小学校
- (2) 所在地 香川県坂出市高屋町1050-1
- (3) 学年別児童生徒数及び学級数、教員数（令和8年4月1日現在）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	特別支援 学級	児童生 徒数計	教員
1学級 18名	1学級 22名	1学級 13名	1学級 32名	1学級 20名	1学級 22名	2学級 6名	133名	12名

2 研究主題等

- (1) 研究主題 自ら学び、考えを深める児童の育成
～ともにによりよく生きる道徳教育の充実を目指して～

(2) 研究主題設定の理由

令和6年度より数年来、児童の自己肯定感は上昇傾向にあることが校内児童アンケート、国・県の調査結果に表れている。一方、「自分の思いや考えの主張・表現」、「振り返り活動」は、肯定的回答が少ない傾向がある。そこで、児童が学びへの願いや意欲をもち、自らの課題をもって学ぶしかけや、意見の形成と交流して再形成する活動の工夫、個の特徴を生かした学び合いの支援、振り返ったことを実生活につなげ、自分の学びを実感する工夫が必要であると考え。

これらを基盤に令和8年度は道徳科を要として総合的な学習活動をはじめ、各教科等を結び付けた教育活動を目指す。実態を踏まえた授業改善のためには、児童が学びを自分事として捉えて主体的に学習に取り組み、学びを振り返ることができるようにするための児童理解と手立てが大切である。そのために、教師は、単元を通して児童が生きる力を育めるようにするための学習活動の流れを考えたり、題材との出合わせ方を工夫したりする。そして、児童が語りたくなるような教材や発問の工夫などを行い、主体的な関わりを促したい。また、児童のよさや可能性を生かした学び合いを仕組んで学びを深め、互いに自己を高め合う学びの環境づくりを行う。本年度は特に道徳教育を中心に、自分や友だち、教師、地域の方などの多様な他者との対話や学び合いを通して、学びの質を高めていきたいと考える。さらに、松山・王越地域に受け継がれてきた伝統や文化に関心をもち、それらと自分との関わりを理解する中から、郷土を愛する心を育て、ともにによりよく生きる態度を育成していきたいと考え、本研究主題を設定した。

(3) 研究内容及び方法

- ① 道徳科と総合的な学習の時間をはじめ各教科等を結び付けて総合単元的道徳学習を行い、道徳的価値を深く理解し、道徳的実践力を養う。
- ② 地域の特色や伝統文化、地域教材等を生かして学ぶことで、郷土を愛し、自ら地域に貢献しようとする児童を育てる。
- ③ 自分事として捉える学びと振り返りを循環させ、実生活に生かすことのできる学習活動の実践を行う。

3 成果の評価計画

- (1) 道徳学習での児童の振り返りの積み重ねを総合単元的学習後、学期ごとに、1年を通して捉え直す。
- (2) 地域との交流活動における学びを視覚化する。（アンケート・口述記録等、写真・コメント等掲示）
- (3) 年間計画を基に総合単元構想を工夫し、年間計画を再構築し、学びの連続性を捉える。

4 研究成果の普及方法

- (1) 校内研の工夫（授業づくりを協働で実施、児童の学びの見取りを基にした討議）
- (2) 授業、校内研への外部講師、地域の方との連携・参加の実施
- (3) 研究テーマを基に、研究内容・検証結果を考察した冊子の作成・発信（地域人材、学校等）